

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)

〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石ビル402号

電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478

メールアドレス: office@jcj.sakura.ne.jp

年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



ジャーナリスト

THE JOURNALIST

2019.5.25

放送

4月30日、5月1日の退位・即位の日、おびただしい量のテレビ報道があった。印象を端的に言えば、恐るべき同一性といつて可い。

恐るべき礼賛横並び

制度批判の言論伝えず

新天皇即位の日のテレビ報道は、前夜のカウントダウン、各地の「令和」奉祝行事、新生児が並ぶ産院の取材、それに、新天皇の過去の事績の歴史資料映像といった内容に終始し、ここに例外なく「おことば」を読み解く解説が加わる。

日中のワイドショーはもちろん、5月1日のNHK「ニュース7」「ニュースウオッチ9」テレビ朝日「報道ステーション」TBS「NEWS23」などを視聴したが、どの局も判で押したように似た内容だった。

このような一連の報道がはらむ問題は何かだろうか。次の二つの点を指摘したい。

第一の問題は、代替わりの儀式に憲法上の疑義があるという批判があるのに、その議論の存在が全く伝えられず、放送全体が奉祝の基調に蔽われていたことだ。

即位の儀式は、天照大神から授けられたとされる三種の神器の継承を核としている。これは、天皇が神の子孫であることを語を賜う儀式(広辞苑)である。一段高いところ

に立った天皇に議員らが臣下のごとく拝謁するという形の儀式は、天皇の地位が国民の総意に基づき、NHK「ニュースウオッチ9」のアナウンスは、伊勢神宮について「皇室の祖先の天照大神がまつられています」と留保抜きで紹介した。天皇の祖先が神であると明言した形である。

もう一つの問題は、テレビでは、天皇制そのものに対する批判的言論が抹殺されたかのようにほとんど伝えられなかったことだ。

ある特定の家柄に生まれることで特別に高い地位に就く、という制度は、どう考えても憲法の原理には反する。しかも日本人は過去、その地位

への尊崇と服従を強制され、戦争の惨禍を経験している。こうしたことから、天皇制に疑念を抱く国民が少数とはいえ、確実に存在するはずである。

「令和」狂騒報道

4月1日の新元号「令和」の決定で号外を発行するなど大騒ぎをした新聞各社は、4月30日の明仁天皇退位、5月1日の徳仁新天皇即位でも、「新天皇陛下即位」「令和始まる」などと大騒ぎし、テレビとともに「代替わりフィーバー」の中心を担った。朝日、毎日、読売の在京3紙は1日付に特集ページを組み、政府は、「奉祝」を全国に通達、日の丸を掲げた学校なども多かった。「代替わりフィーバー」

を拡大したのはメディアだ。そこには、「象徴天皇制はいかにあるべきか」などについて、正面からの議論はなかった。

閣議で決めた「皇位継承法」に関する式典委員会(委員長・安倍晋三首相)だ

が、4月2日には「御即位当日における祝意奉表」の丸「掲揚を求める通知

が、放送現場には、このような憲法の知識がそもそも不在であり、憲法や天皇制の起源に関する無知・無教養が蔓延しているのではないか。このほうがこは深刻である。

4月18日、明仁天皇が伊勢神宮を参拝したとき、NHK「ニュースウオッチ9」の「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

奉祝満載 ヨイシヨ記事 必須の検証・課題ふっ飛ぶ

4月1日の新元号「令和」の決定で号外を発行するなど大騒ぎをした新聞各社は、4月30日の明仁天皇退位、5月1日の徳仁新天皇即位でも、「新天皇陛下即位」「令和始まる」などと大騒ぎし、テレビとともに「代替わりフィーバー」の中心を担った。朝日、毎日、読売の在京3紙は1日付に特集ページを組み、政府は、「奉祝」を全国に通達、日の丸を掲げた学校なども多かった。「代替わりフィーバー」

を拡大したのはメディアだ。そこには、「象徴天皇制はいかにあるべきか」などについて、正面からの議論はなかった。

閣議で決めた「皇位継承法」に関する式典委員会(委員長・安倍晋三首相)だ

が、4月2日には「御即位当日における祝意奉表」の丸「掲揚を求める通知

が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

新聞



各紙は退位・即位で大騒ぎ、「代替わりフィーバー」だった

をした。各府省に、①国旗の掲揚②地方公共団体に対して、③地方公共団体以外の公署、学校、会社、その他一般においても、④児童生徒への祝意を表する意義について、児童生徒に理解させるようにすることが適切か、と

を。さらに4月22日、永山賀久初等中等教育局長名で、全国の教委に、天皇退位と皇太子即位に際して「児童生徒への指導について」とする通知で、「国民それぞれが、2日付琉球新報や9日付東京新聞「こちら特報部」だった。

しかし、国会も衆院が9日、参院が15日に「賀詞」を議決。「即位を祝する」として、あわい、いよいよの御清祥

と、令和の御代の末永き弥栄をお祈り申し上げます」とし、共産党も賛成したことが話題になった。

「平成」から「令和」へ、新元号に始まり「新時代」を強調する「代替わりフィーバー」は、元号を書き込んだお菓子や同名人物を「あやかり婚」と続いた。

「あやかり婚」と続いた。

天皇制批判排除



安倍首相はやっぱり天皇を政治利用 =ANNニュースから

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

「おことば」が、放送現場には、この

7月13日にJCJ賞決定

JCJ賞は出版が24日に応募締め切り、選考委員会にあげる推薦作品を30日に決め、新聞が同じく24日締め切り、推薦作品は6月6日にそれぞれ決まります。放送などは31日応募締め切り、推薦作品6月6日に。JCJ賞選考委員会(メンバー6人)は7月13日(土)午後2時からJCJ会議室で開き、62回目のJCJ賞を決定します。

(2面に続く)

放送

同調圧力の増大

憲法は「天皇の地位は国民の総意に基づくと定めている。しかし、総意など関係なく、天皇を敬愛するのが当然と言わ

んばかりの報道があふれ天皇制は尊重すべきという空気がテレビ報道全体を覆っていた。

こうした報道による同調圧力の増大は、日本をどこへ導くのだろうか。

たとえば将来、安保法の下で、自衛隊員が海外で大規模な戦争に参加

し、戦死者が出るなどという「国家の非常事態」が生まれた場合、テレビメディアが、愛国心をあおる横並び一斉報道を展開し、国民の判断を誤らせるかもしれない。

今回の代わり報道はそうした懸念を身に迫るものとして感じさせた。

新聞

記者も悩む熱気

テレビ報道に従事する人びとには、代わり報道が本当にこれでよかったのか、という自省と批判精神の回復を求めたい。

戸崎賢二(元NHKディレクター)

朝日10日付9面は、東京社会部の宮内庁担当・島康彦記者の「取材考」を掲載し「代わり報道」を「熱気の中で報

じる立場は」と題し、「改元フィーバー」とも言えるような雰囲気の中で、皇室のありように対する鋭い検証や、制度面での課題の指摘は、目立たなかったように感じた」と書いた。

島記者によると、宮内記者会では「たびたび議

論に」なっていたが、「代わりが近づくとつれ、控えめに報じるつもりだったけど、新天皇について7回の連載を上司から指示された」「代わりはお祭りなのだから、新天皇ご一家をヨイショする記事で構わないと思う」といった声が聞こえて



「我慢比べ」江草晋二

プロGRESSIVE連合で参院選勝利

上智大・中野教授に聞く

メディアの過熱した天皇「代わり」報道にうんざりした「10連休」が終わり、参議院選挙が約2か月後に迫ってきた。この選挙は、安倍改憲勢力を3分の2以下に追い落とせるか、最大の正念場を迎える。そこで「市民連合」の呼びかけ人である中野晃一上智大教授に話を聞いた。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整はやり易くなる。同日選を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

あらゆる差別 撤廃へ 自民党の後進性暴く

強が盤石ではないとの認識を示した。

同日選受けて立つ

野党共闘について中野教授は「参院選1人区の候補一本化は既定方針だ。野党共闘の効果は各党が理解しており、一本



中野晃一教授は「市民連合」の呼びかけ人だ

化調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

調整の必要性でも一致している。(合意は)時日の問題を警戒しつつ、いざとなれば受けて立つ」と述べて、市民と野党の共闘に自信を示した。

視 角

維新の丸山穂高議員が北方領土の訪問の最中、「北方領土を取り戻すには戦争しかない」などと発言した。日本維新の会は同議員を除名したが、丸山議員は「言論の自由だ。任期を全うする」と開き直っている。同議員の辞職勧告がどうなるかはわからないが、彼が辞職することになっても、問題は終わっていない。つまりこの発言、世界中に見渡しても公認する人は



民の知る権利への侵害を跳ね飛ばす院内集会」(写真)が4月22日、国会内で開かれた。法曹関係者と現場の記者が連携した呼び掛けに約280人が参加。東京新聞の望月衣塑子記者が講演、官邸による取材の自由と国

植村裁判

東京訴訟 6月29日に判決

札幌控訴審は全面対決

歴史修正主義勢力の「捏造」攻撃に対する元朝日新聞記者植村隆さんの名誉回復の闘いは4月25日、札幌訴訟(被告櫻井よしこ、新潮社など)の審判が再開された。東京訴訟(被告西岡力、文芸春秋社)は5月10日、

昨年11月結審後の再開、中断など原克也裁判長の異例の訴訟指揮で生じた混乱を経て再開された口頭弁論が再結審した。一審判決日は6月26日午前11時半からと決まった。強引に弁論終結



東京訴訟判決に向け決意を語る植村隆さん(5月10日、参議院議員会館)

東京訴訟は午後3時開廷。冒頭、植村弁護団は原裁判長が結審後の今年2月、被告側に新証拠を追加提出させた行為について、裁判所の釈明権行使義務の存在を指摘。新証拠「朝日新聞社第三者委員会報告書全文」の証言で明らかにした。またこの日の傍聴券交付も、裁判長(裁判体)が「席が余っても時間切れの券を配るな」と、指示していたことも職員証言で明らかになった。新証拠「朝日新聞社第三者委員会報告書全文」は、朝日新聞ホームページ上の「慰安婦報道検証第三者委員会」に公開されており現在も確認できる。だが、札幌訴訟一審判決は、植村さんへの櫻

井よしこ被告の名誉毀損の事実、櫻井被告の主張の杜撰さ(彼女のほうが「捏造者」にふさわしい)を認定しながらなお、「朝日新聞の慰安婦報道に問題がある」を逃げ道に「真実」相当性を認め、櫻井被告の植村バッシングを免罪した。そして櫻井被告は「勝った私が正しい」とばかりに居直り続けている。東京訴訟の西岡力被告はそのネタ元の「捏造」者で、植村バッシングの「膿の親」だ。原裁判長らが「新証拠」で歴史修正主義へのどんな「付度」論理を組み立てるのか。6月26日の判決を注目したい。

一方、札幌高裁での控訴審(本多知成裁判長)は4月25日に開廷し、植村さんの名誉回復への第二ラウンドがスタートした。開廷に先立ち植村裁判を支える市民の会が呼びかけた「公正な判決を求める署名」1万3090筆も高裁事務局に提出された。

午後2時半に始まった第一回口頭弁論で植村さんは、櫻井被告が「捏造」として植村記事とほぼ同時期に櫻井被告本人が「金学順さん」強制的に旧日本軍に徴用された」と雑誌に書いていた事実と、2014年の「社会の怒りを掻き立て、暴力的言辭を惹起しているものがある」とすればそれは朝日や植村氏の姿勢ではないでしょう。かとの言説の矛盾と主張の交節を指摘。櫻井被告を免罪した一審判決の不当を強く主張した。また弁護団も、「一審判決は櫻井被告が植村さんや当事者への取材なしに、資料引用や事実理解の誤りを繰り返したことを看過した。『真実相当性』の判断も、最高裁判例や法理論からかけ離れている」と明解に指摘した。札幌控訴審の第二回口頭弁論は7月2日午後2時半から開かれる。

伊藤詩織さんに支援団体

オープン・ザ・ブラックボックス

元TBSワシントン支局長による性暴力の被害を訴え、民事訴訟中のフリージャーナリスト、伊藤詩織さん(29)と裁判を支援する団体が有志で結成された。名称は「Open the BlackBox(オープン・ザ・ブラックボックス)」。東京で4月にあった支援集会で伊藤さんは「性暴力の捜査や司法手続きには、当事者にも明かされないたくさんのブラックボックスがある。民事で分かったことをすべて机の上に並べることで、いまの司法のあり方を考える要素になる」と強調した。伊藤さんは4年前、元TBSワシントン支局長から性暴力を受け、警察に告訴した。準強姦(ごうかん)容疑で捜査は始まったものの、不可解な経緯で不起訴処分となった。係争中の裁判は、伊藤さんが被害事実の認定と慰謝料(1100万円)を求めて東京地裁に提訴したもので、2017年12月の第一回口頭弁論の後是非公開で弁論準備の手続きが行われていた。ところが今年2月、被告側代理人が総額1億3000万円の慰謝料と

「出版ニュース」編集50年―出版界への思い 出版部会6月例会

リレー時評



JCJ代表委員 白垣詔男

私が所属している「日協会」と改名した。東京本コリア協会・福岡にはある「本部」は創設以来「日朝協会」と名乗っている。「日本とコリア」を発行している。同協会はかつて「日朝協会福岡支部」と名乗っていたが、会の趣旨が「朝鮮半島関係者との友好親善」を掲げているので「日朝協会」では北朝鮮だけとの友好親善組織と誤解される恐れがあるために、福岡や他

私は、約15年前から月刊紙「日本とコリア」の取材担当として活動している。同紙は原則として毎号、1、2面は「朝鮮半島と関係がある方」のインタビュー記事を載せていた。孫総領事

「世界一の民主主義国」と孫総領事

私は、約15年前から月刊紙「日本とコリア」の取材担当として活動している。同紙は原則として毎号、1、2面は「朝鮮半島と関係がある方」のインタビュー記事を載せていた。孫総領事

人、日本人を含むさまざまな「関係者」にお願いしている。今年3月号では駐福岡韓国総領事の孫鍾植さんにインタビューをさせて私を懇親会に招いてくださり、大いに歓談した。

閣僚がいる今の安倍政権は日本の民主主義をおろそかにしていると考えている。韓国の民主主義のほうが進んでいると思う。総領事は「世界一の民主主義国」と言われたことだ。その中で私が一番驚いたのは、孫総領事が「韓国は世界で一番民主主義が発達している国です」と言われたことだ。もちろん私は、「沖繩には沖繩の民主主義があり、しかし国には国の民主主義がある」と発言する

私は、韓国の民主主義の原点は100年前の「三・一民族運動」だと思っている。その運動で朝鮮半島の方々が取った言動を支えた精神が、その後の韓国の民主主義を推進したと、今年の「三・一民族独立運動」の際、講演会などで学びながら思ったことだ。韓国のさまざまな民主運動にその精神が引き継がれ、記憶に新しいのは朴槿恵大統領退陣要求運動

「世界一の民主主義国」と言われた孫総領事の顔を、私はまぶしく見つめ続けたことだ。

「世界一の民主主義国」と言われた孫総領事の顔を、私はまぶしく見つめ続けたことだ。

75年の歴史を持つ「出版ニュース」が3月末に休刊した。出版界の動きを総合的に捉え、的確な分析や提言など、出版関係者や愛書家には貴重な雑誌! 歩んだ軌跡と出版界への思いを語る。講演 清田義昭(出版ニュース編集長) 日時 6月28日(金) 18時15分~20時50分 場所 YMC Aアジア青少年センター3階 JR水道橋駅東口下車・徒歩6分 東京都千代田区猿樂町 2-1-15 ☎03-3233-0611 参加費 800円(会員・学生500円)



伊藤詩織さん自身が唱えている「WeToo」の輪は、4月10日、米、韓国の学者やジャーナリスト、活動家らへのイ

スポーツ

大野 晃

2020年東京五輪・パラリンピックの日本代表候補たちは、開幕まで正念場の1年を迎える。卓球などの世界選手権で思うような成果が出なかったり、陸上男子リレーのように思わぬつまづきもあった。競争相手も力を上げてきているのだから順風満帆とはいかない。

オリ。パラ代表候補の孤立が心配

さまざまな悩みを乗り越える厳しい期間である。代表候補の挑戦者精神を支えるのは、社会的な絆だろう。励みとなり努力を促す。プロ化の進展で閉鎖的な鍛錬環境にありだけに、なおさらだ。

でも、マスメディアの身勝手な代表候補を追い詰めたケースを多く見てきた。そのマスメディアの偏った姿勢が増幅している。代表候補の孤立を強め、冷静な鍛錬を妨げるところを恐れる。

は、あれこれのちょっとした成果を誇張して期待感を煽るばかりだ。代表候補たちの焦りや重圧感を増しかねない。これも

は競技成果を求めるばかりではない。その人間性に共鳴して、存分に力を発揮することこそ望んでいるはずだ。

しかし国もマスメディアも国民には観客として経済効果を期待するばかりのようだ。代表候補と絆を深める機会や国民のスポーツ参加を拡大する運動に関心を示さない。

「メディアに認証制度を」

「国境なき記者団」幹部が講演

国連の「世界報道の自由デー」(5月3日)に呼応し、東京・市ヶ谷の法政大学で同日6日、「民主主義と報道の役割」と題するフォーラムが開かれた。パリに本部を置くNGO「国境なき記者団」東アジア総局長のセドリック・アルビアーニ氏(写真)が講演し、ネット上に蔓延するフェイクニュースと戦う必要性を強調。そのために「ニ

ュースを発信するメディアの取材過程などを第三

者機関が審査し、信頼できるメディアか否かを認証する制度をつくること

が有効だ」と語った。

認定作業に「国境なき記者団」は加わらず、産業界で製品の認証などを専門にする機関に委託する考えだ。フランス規格協会(AFNOR)などの名を挙げた。

「メディアの認証制度は報道内容を評価するものではない。あくまでニユー

スを出すプロセスが透明かどうか、最低限の条件を満たしているかを判断する」と語り、検閲とは異なることを説明した。

具体的には①オーナーシップ(所有権)の透明性

ももちろん、沖繩の現実は何一つ替わっても変わっていかない(日本だって同じだろうけれど)。

「令和」とは「ヤマト(大和)の命に代え、ってことだろ?」という声が

「軍事植民地」現実かわらぬ

一人の人間が年老いて息子に仕事を譲っただけ

「天皇制」によってきんざん痛めつけられてきたはずの沖繩のメディアで

「令和」とは「ヤマト(大和)の命に代え、ってことだろ?」という声が

た当時20歳の女性の3周

5月15日、沖繩は47年

「天皇制」によってきんざん痛めつけられてきたはずの沖繩のメディアで

「令和」とは「ヤマト(大和)の命に代え、ってことだろ?」という声が

た当時20歳の女性の3周

5月15日、沖繩は47年

「天皇制」によってきんざん痛めつけられてきたはずの沖繩のメディアで

「令和」とは「ヤマト(大和)の命に代え、ってことだろ?」という声が

た当時20歳の女性の3周

5月15日、沖繩は47年



沖繩リポーター

た当時20歳の女性の3周

浦島悦子



酒井憲太郎氏撮影

た当時20歳の女性の3周

「天皇制」によってきんざん痛めつけられてきたはずの沖繩のメディアで

「令和」とは「ヤマト(大和)の命に代え、ってことだろ?」という声が

た当時20歳の女性の3周

5月15日、沖繩は47年

浦島悦子

日米地位協定改定で世論盛り上がる

全国知事会・地方議会が動く

国内法適用で「主権確立を」

米軍優位の不平等な日米地位協定の問題が注目されている。地位協定は米軍に、基地の運営などに「必要なすべての措置をとれる」強力な排他的管理権を認めている。米軍機墜落事故でも米軍が現場を封鎖し、日本側は現場検証も事情聴取もできない。米軍は事故原因の究明は二の次で訓練飛行を再開し、日本政府は容認してばかりいる。

基地周辺の住民による米軍機騒音訴訟で、騒音公害として違法性と損害賠償は認められるが、飛行差し止が、飛行差し止



横田基地に着陸する米空軍C-130オスプレイ。筆者撮影

くには、地位協定を抜本的に改定し、米軍への国内法の原則適用を明記する必要がある。だが、政府は改定に後ろ向きだ。「運用の改善」と称する小手先の対応ばかりで、米軍の特権を見直そうとする姿勢はない。しかも、駐留外国軍隊には特別の取決めがない限り受入れ国の法令は適用されない、との見解を示す。しかし、駐留外国軍隊への国内法の原則適用は、実は国際的な常識である。沖縄県がドイツ、イタリア、ベルギー、イギリスに調査団を送り、日米地位協定と比較してまとめた「他国地位協定調査報告書(欧州編)」によると、各国では米軍に対し航空法や環境法令、騒音に関する法令など国内法を原則適用している。

低空飛行訓練も高度、飛行時間、訓練区域などに規制をかけている。横田空域のような米軍が航空管制を一手に握る空域も認めず、受入れ国の軍や自治体などの当局者の立入り権も保障される。日本とは異なり、「自国の法律や規則を米軍にも適用させることで自国の主権を確立、米軍の活動をコントロール」しているのだ(8面参照)。

報告書は沖縄県のホームページに掲載されており、より広く知られてほしい。それは地位協定の抜本的改定に向けた世論の広がりにもつながるだろう。前述の全国知事会の提言を受けて、地方議会にも地位協定の改定などを求める意見書が出され、今年4月半ばの時点で、北海道・岩手など7つの道県議会と札幌市・長野市など122の市町村議会が決議された(しんぶん赤旗4月27日)。こうした取り組みの広がりも重要だ。

伊藤力司 ワールドウォッチ

さらに米軍は原子力空母エイブラハム・リンカーンをペルシヤ湾に回航

トランプ米大統領は、先にイラン石油の禁輸を「パトリオット」を中東に追加配備するなど、の5月8日にはイランと度の高めている。現地では偶発的な軍事衝突が懸念されている。

さらに米軍は原子力空母エイブラハム・リンカーンをペルシヤ湾に回航

が、イランの精鋭軍事組織「革命防衛隊」のサラミ総司令官は5月12日「イランは戦争を始めたことはなく、好んでもいない」と発言。「いつかイランの指導者と会うこと無視する構えだ。」

ペルシヤ湾をとりまく情勢がこのように緊張している中で5月16日、イランのザリフ外相が突如来日、安倍首相、河野外相とそれぞれ会談した。首相は「状況の安定化に

対イラン外交 成果求められる日本

「破壊行為」を受け、米メディアは、いざいも親イラン勢力による攻撃の可能性があると報じたが、イランが関与したという証拠はない。

安倍首相はトランプ大統領に弱いが、日本とイランは特別な友好関係にあり、ことイラン関係では安倍政権も米国に盲従するわけには行かない。そこを見込んでのザリフ訪日であり、まさに日本外交の実が試されている。



左から武井由起子弁護士、南彰さん、相澤冬樹さん

4月13日、憲法学者の石川裕一郎さんなど多彩なメンバー。武井さんが活動する中で出会った人たちだ。武井さんは相澤さんとは週刊金曜日の主権のイベントで面識を得たという。

東京新聞の望月衣塑子記者に対する質問封じに反対し、菅官房長官の選

神奈川支部例会も140人を超す参加者があった。記者会見での報道喝に対する市民の関心の高さを示したものだ。

保坂義久

菅官房長官会見の映像流れる

神奈川支部では4月13日に首相官邸記者会見での質問制限をテーマに例行の多い場所。PVでは52インチのディスプレイを使い、菅官房長官の会見の映像を流した。合間にはスピーチタイムが設けられた。

発言者は南さんのほか、元自衛隊レンジャーの井筒高雄さん、森友・加計疑惑を追及する元NHK記者の相澤冬樹さん、憲法学者の石川裕一郎さんなど多彩なメンバー。武井さんが活動する中で出会った人たちだ。武井さんは相澤さんとは週刊金曜日の主権のイベントで面識を得たという。

東京新聞の望月衣塑子記者に対する質問封じに反対し、菅官房長官の選

支部リポート

神奈川支部では4月13日に首相官邸記者会見での質問制限をテーマに例行の多い場所。PVでは52インチのディスプレイを使い、菅官房長官の会見の映像を流した。合間にはスピーチタイムが設けられた。

発言者は南さんのほか、元自衛隊レンジャーの井筒高雄さん、森友・加計疑惑を追及する元NHK記者の相澤冬樹さん、憲法学者の石川裕一郎さんなど多彩なメンバー。武井さんが活動する中で出会った人たちだ。武井さんは相澤さんとは週刊金曜日の主権のイベントで面識を得たという。

東京新聞の望月衣塑子記者に対する質問封じに反対し、菅官房長官の選

で、北海道・岩手など7つの道県議会と札幌市・長野市など122の市町村議会が決議された(しんぶん赤旗4月27日)。こうした取り組みの広がりも重要だ。



「安倍政権の9条改憲発議は許さない」と4野党党首(立憲民主党枝野幸男代表、国民民主党玉木雄一郎代表、日本共産党志位和夫委員長、社民党又市征治党首)、参院会派沖縄の風伊波洋一議員が壇上に勢揃いした。スピーチの後、参加者とともにプラカードアピール。主催の平和といのちと人権を!5.3憲法集会実行委員会は参加者6万5千人と発表した。5月3日、東京・江東区の臨海広域防災公園 酒井憲太郎撮影

「安倍増税」は日本を壊す 消費税に頼らない道はここに

垣内 亮

不況と貧富格差の拡大を呼び込むだけ

安倍政権は、消費税の扱いを政治利用しながら延命を図ってきた。いまもまた10月からの消費税10%への引き上げでは、「ポイント還元」や「プレミアム付き商品券」など、姑息な「対策」を打ち出して来た。また

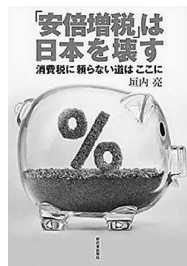
消費税の使いみちは保育料や大学授業料の「無償化」などに充てると宣伝しながら、増税への地ならしを進めてきた。その増税が「日本経済を破壊する」危険性の大きいことを、国内だけでなくウォール・ストリートで

ト・ジャーナルなど、海外からも警告が発せられている。この消費税増税の大きな矛盾、すなわち「財源と言えは消費性」とされてきた呪縛を、一気に解くことを企図して著わされたのが本書。

「消費税増税中止の一点での世論と運動を急速に進めるために執筆された」書だが、いわゆる啓蒙書ではない。「逆累進性」によって、低所得者にはこれまで以上に多くの負担を課す消費税の根源的な仕組みから解説

し、消費税の根本的な欠陥や問題の本質を理論的に解明している。さらにこの増税が貧富の格差を一層拡大し、消費不況をもたらし危険性も分かりやすくなる指摘。「アベノミクス」の恩恵で大儲けしている大企業や富裕層に必分の負担を求めれば、消費税に頼らずとも財源は確保できることも明記する。

景気後退が鮮明になり、延期も二度あることは三度ある「可能性が浮上している。現下の最重要課題である消費税問題について、改めて正しい理解を深めていくうえで理論武装に貴重な1冊。」（新日本出版社1700円） 榎木 誠



安倍増税は日本を壊す 消費税に頼らない道はここに 垣内 亮

書評

本・BOOK・ほん

（価格は税別です）

吉田敏浩

横田空域 日米合同委員会でつくられた空の壁

米軍のために1都9県の空を明け渡す密室合意の実態に迫る

横田空域 吉田敏浩

日本の旅客機は迂回を強いられ、航路は集中、ニアミスの危険や燃料の無駄遣いが強いられる。米軍は横田空域を持つことで、横田基地の聖域化を実現させている。オスプレイの配備、パラシュート降下訓練など、やりたい放題だ。都心にある米軍ヘリポートや専用ホテルと連携して日本を支配する最有力な道具となっている。

山積する米軍の問題を解決するどころか譲歩を続け、ついに提供空域以外での訓練も、容認するようになった日本政府。「我関せず」の姿勢は強まる一方だ。

全国知事会が日米地位協定の見直しや米軍に国内法の適用を求める提言をまとめたのは一条の光明かもしれない。

本書は、今も続く「日本占領の構図」を解きあかし、解決策の方向性を示す。

（角川新書840円） 半田 滋（東京新聞「論説編集委員」）

横田基地を離陸した米軍機は北上し、群馬を中心の空域で激しい訓練を繰り返す。その結果、米軍機騒音への苦情が日本一多いのは、米軍基地を持たない群馬、という意外な事実を明かす。

山積する米軍の問題を解決するどころか譲歩を続け、ついに提供空域以外での訓練も、容認するようになった日本政府。「我関せず」の姿勢は強まる一方だ。

全国知事会が日米地位協定の見直しや米軍に国内法の適用を求める提言をまとめたのは一条の光明かもしれない。

本書は、今も続く「日本占領の構図」を解きあかし、解決策の方向性を示す。

（角川新書840円） 半田 滋（東京新聞「論説編集委員」）



木下サーカス四代記 山岡淳一郎

木下サーカス四代記 年間120万人を魅了する百年企業

山岡淳一郎

旅興行に密着して魅力の根源に迫り波乱に富む四代の活躍を辿る

そんな「サーカス」を扱ったノンフィクションが本書。読者の「サーカス観」を覆す抜群の面白さ。今や日本のみならず世界屈指のサーカス団となった「木下サーカス」のルーツをたどるべく著者は資料を漁り、経営哲学を聞き取り、興行に密着して団員たちの生活を取材、さらには観客たちの反応までも書き込む。

ルーツはやはり、親子分の委員師の世界に発していた。明治期の興行師・木下藤十郎である。

そこからどういう系譜

を辿り、現代のエンターテインメントの雄に育っていったのか。初代・木下唯助の活躍ぶりは、まるで手に汗握る任侠の世界、高倉健の映画の気配さえする。「狭い日本にや住みあきた」とばかり、中国やロシアまで出かける行動力。創業者の気迫は抜きん出ている。

だが、時代とともにサーカスも変貌していく。海外公演にかけた夢。そして敗戦による挫折。そこから再起。読者も手に汗握る展開だ。背景に日本という国の動きも詳細に書き込んでいる。

今や木下サーカスは四代目・唯志を中心に百名を超す社員で構成される一大エンターテインメント企業となった。こんな面白いノンフィクション、久々である。

（東洋経済新報社2000円） 鈴木 耕（編集者）

フォト・ルポルタージュ 福島「復興」に奪われる村 豊田直巳

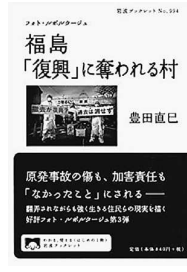
3・11後の福島に広がる「復興」という不可視社会

声や丹念に伝える。福島では原発事故、核被害、放射能汚染が容易に虚構となり得る「不可視社会」が広がる。人間の想像力それ自身が攻撃される中で苦しみ、抵抗する村民。

生存競争と自然淘汰の「社会ダーウィニズム」やマチズモ的な発想による「復興」は、「その先に何か良いことがありそうなファンタジー」をまぶした、見えない爆弾になるうとしていく。

飯館村に帰還し、不安な中で子どもの被曝の軽減に懸命に努力する3児の母の言葉が記される。「結局は福島はただの実験台だ。そして実験が終わった時に、『やっぱりお前たちダメだったんだよ』って言われるのが一番怖いですよ。（中略）だから、頑張らないで後悔するよりは、とりあえずは頑張ったほうがいいじゃないか。」

また抵抗の意識が確かなにあるからこそ言葉。同時に真剣に一生懸命生きていく人ほど、ビルトインされてしまう「復興」のメカニズムが恐ろしい。（岩波ブックレット840円） 藍原 寛子（ジャーナリスト）



福島「復興」に奪われる村 豊田直巳

歪む社会 歴史修正主義の台頭と虚妄の愛国に抗う 安田浩一×倉橋耕平

事実を無視し差別・排外主義に走る 右派言説の流れを徹底的に検証

本書は、現場取材をもとに、現代日本に鋭く斬り込む著作を出し続けているジャーナリスト安田浩一さんと、メディア文化論、サブカルチャー論などで斬新な分析をして注目される少壮社会学者倉橋耕平さんの対談を書籍化したものである。

テーマは「とどまることを知らない」現代日本の右派現象。

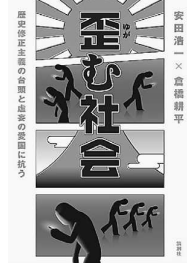
現代右派現象の中で重要な道義となるのはネットだが、ウインドウズ95年が発売された当時は、マスメディアにはない「自由な言論空間」ができてくるの期待感が支配的だった。

同時にこの時期、「新しい教科書を作る会」や「日本会議」が設立され、

小林よしのりなどの影響もひろがっていたこと、つまり歴史修正主義の運動化がはじまっていることなどから90年代後半は現代右派にとってエポックメイキングの時となった、そう両者は語っている。

2000年代に入ってネット右翼が目立ってくるが、意外とその人数は少ないという。だが政治家や財界と共謀し、嫌韓・嫌中の隆盛に連動している。事実を無視し、差別や排外主義を助長する右派言説が商売になる現代日本なのだ。出版界のみならず、新聞や放送などもその影響を受けて腰が引けている。本書はその危険性を多様な側面から警告している。リベラルや左派に有効な対案を呼びかけつつ、安田さんは次のように書き、本書をまとめている。

「これ以上、壊されてたまるか。社会も、地域も、そこで暮らす人々も。憎悪の火を囲んで踊りつづける者たちに、私たちはきちんと示さなければならぬ。真っ当な怒りと、真っ当な情けと、そして冷静な知識を抱えて」と。（論創社1700円） 吉原 功（明治学院大学名誉教授）



歪む社会 安田浩一×倉橋耕平

「横田空域」は東京、神奈川、埼玉、群馬、栃木、福島、新潟、長野、山梨、静岡の1都9県の上空を覆う。高度約2450〜7千メートルの空間を、6段階に分けた巨大な「空の壁」である。

関与が強く疑われるが、その合意文書や議事録は非公開のため、全貌は闇

カメラのレンズや人間の知覚で捉えきれない放射能。本書の著者を含め、ジャーナリストは「見えていない世界だけではない全てを伝えきれない」という大命題に直面した。しかし、被災した人々の語りや、放射能汚染の被害実態を浮き上がらせてくれる。全ての取材は被災者との共同作業で成り立っている。

放射能汚染地域では、取材者自身も当事者になる運命。豊田氏は自らの作品が展示拒否された状況との闘いを冒頭に、主に飯館村の住民にフォーカスし、避難と帰還、放射能汚染と除染、損害と賠償と法廷闘争。人々の尊厳が失われていく様子と、抵抗する人々の姿と

「日本会議」が設立され、

映画の鏡

ユネスコ遺産の炭坑夫の絵 『作兵衛さんと日本を掘る』

消してはならぬ筑豊の記憶

この作品の熊谷博子監督は2005年「三池く終わらない炭鉱(やまの物語)」で日本最大だった三池炭鉱の歴史と負の遺産の意味を問いかけた。今回の作品の主人公は

山本作兵衛さん(1892〜1984年)。福岡県の筑豊炭田で働いた生粋の炭坑夫だ。自らが体験した労働や生活を絵に描き、それが2011年5月、日本初のユネスコ



© Yamamoto Family

井が落ちてくれば逃げ場はない入坑(母子)のし、妻が弁当や水をもつ

て後を追う。作兵衛さんも7歳の頃から弟を背負って坑内に入った。作兵衛さんの娘や孫、作家の森崎和江たちが証言。記録作家・上野英信の長男、上野朱は「結婚して新たな本籍地をつくる時に、役場で書類を出したら、この番地は炭鉱のあった場所です、だからお避けになったほうがいいんじゃないですか?」

ここにするとお気の毒にという表情で書類を受理してくれました」と今につながる炭鉱差別について語る。熊谷監督は「この映画を作る間、私を支えてきたのは心の奥底にある怒りだった。炭鉱の人達のことを葬りささっているのだろうか」と述べている。(公開は5月25日(土) 東京、ポレポレ東中野) 今井潤

30年前とは雰囲気は大きく異なるが、改元騒ぎが続いた。とりわけテレビは改元一色となり、NHKの放送時間は4月29日から3日間で33時間という。安倍政権による政治利用も目についた。

変わる意思と力をもった新しい日本人が求められ続いた。とりわけテレビは改元一色となり、NHKの放送時間は4月29日から3日間で33時間という。安倍政権による政治利用も目についた。

新聞

心に響く高村薫さんの朝日への投稿

壊れ流される報道のなかで、朝日4月30日の作家・高村薫さん寄稿が心に響いた。この30年の歴史を振り返り、何よりも

壊れ流される報道のなかで、朝日4月30日の作家・高村薫さん寄稿が心に響いた。この30年の歴史を振り返り、何よりも

し、国の安全と国民の命を守る正当性を明確にする狙いは理解できる」。安倍政権の狙いを理解できると言うのだろうか。毎日社説は「今、憲法

を刻む。憲法記念日の読者社説は「もとより、憲法改正論議の中心は、9条である。一部に根強く完の成熟国家だった」と人口減社会の到来な残る自衛隊違憲論を払拭

ことを、我が党にとっても参院選のアピールポイントになる。安倍政権の「別働隊」として、改憲勢力の一翼であると言。安倍改憲に向けて維新の援軍ぶりが際立つ。地域政党の大阪維新の会は、脱法行為といえる大阪府・市「入れ替えダブル首長選」で圧勝し、府議・市議選も大きく議席を伸ばした。ノンフィクションライター松本創

月間ベスト10

東京・世田谷のシアターTラムで舞台「獣の柱」を見た。近未来SF劇である。安直な幸福を与えられて「思考停止」に陥り、簡単に支配されてゆく人類を巧みに描いていて、静かな恐怖が忍び寄る刺激的な作品だった。

東京・世田谷のシアターTラムで舞台「獣の柱」を見た。近未来SF劇である。安直な幸福を与えられて「思考停止」に陥り、簡単に支配されてゆく人類を巧みに描いていて、静かな恐怖が忍び寄る刺激的な作品だった。

好となった(「天皇の代わり」と提起する。「世界」6月号(岩波書店)で弁護士出口かおり氏が「公安警察―日本型監視社会の担い手」

書き、ごぼう抜きにする「国家警察」の姿を目的に、今後、深掘りしてほしい。出口氏は、警察の捜査や情報収集、分析技術の進化についても注意を促す。Nシステム(自動車ナビ)自動取装置、監視カメラ、ドライブレコーダー、インターネッとの閲覧履歴、GPS(人工衛星を利用した位置情報計画システム)、携帯電話の位置情報、買

に強制的に(受信料を)支払わせることに相当の不満があって投票につながった。会見した同団体の立花孝志代表(51)は、統一地方選についてそう述べた。(朝日)4月27日付ほか) ◇サウジ記者殺害に河野外相は触れず 河野外相は訪問先のサウジアラビアで同国のムハンマド皇太子と会談し、サウジの経済構造改革を支援する考えを改めて強調した。河野氏は約1時間の会談で、ムハンマド氏の関与が指摘されるサウジ人記者カシヨギ氏殺害事件について言及しなかった。殺害事件を巡って国際社会から批判を受け

出版

公安警察「プライバシー侵害」横行

「思考停止」の最たるものは、丸山穂高衆院議員(元日本維新の会)の領土問題にかかわる「戦争」暴言であろう。この

改元騒動に浮かれる人々の姿は情けないが、その一方で「季論21」2019春号(本の泉社)が、冷静な理性のありかを示して興味深い。

か)との秋篠宮の問題提起を政府も国会もメディアもほとんど議論せず、「秋篠宮発言によって思考停止に陥っていた主権者国民は虚をつかれた格

のこの歴史的な背景の重要性を説き、政教分離をめぐる判例を紹介。「政府の言い分を鵜呑みにせず、問題の所在を国民に提示しつついく

い物履歴や電車の移動履歴など。公安警察が苦勞なく「プライバシー侵害」に乗り出す事態が横行している。かといって萎縮するに及ばない。それよりも、日本国憲法第13条の幸福追求権に反する行為を許してはならない。安直な幸福ではなく、本当の幸福とは何か。政府の言い分をうのみにはせず、議論すべきことは多い。 荒屋敷宏



メディア

中東イエメンの取材を予定していたジャーナリストの常岡浩介さん(49)が外務省から旅券の返納を命じられた問題で、常岡さんは24日、国を相手に命令の取り消しを求め東京地裁に提訴した。(朝日)4月25日付ほか) ◇女性記者が長崎市を提訴、「取材で性暴力」1名誉も傷ついた 長崎市の男性部長(故人)から性暴力を受けた

予定していたジャーナリストの常岡浩介さん(49)が外務省から旅券の返納を命じられた問題で、常岡さんは24日、国を相手に命令の取り消しを求め東京地裁に提訴した。(朝日)4月25日付ほか) ◇女性記者が長崎市を提訴、「取材で性暴力」1名誉も傷ついた 長崎市の男性部長(故人)から性暴力を受けた

に強制的に(受信料を)支払わせることに相当の不満があって投票につながった。会見した同団体の立花孝志代表(51)は、統一地方選についてそう述べた。(朝日)4月27日付ほか) ◇サウジ記者殺害に河野外相は触れず 河野外相は訪問先のサウジアラビアで同国のムハンマド皇太子と会談し、サウジの経済構造改革を支援する考えを改めて強調した。河野氏は約1時間の会談で、ムハンマド氏の関与が指摘されるサウジ人記者カシヨギ氏殺害事件について言及しなかった。殺害事件を巡って国際社会から批判を受け

に強制的に(受信料を)支払わせることに相当の不満があって投票につながった。会見した同団体の立花孝志代表(51)は、統一地方選についてそう述べた。(朝日)4月27日付ほか) ◇サウジ記者殺害に河野外相は触れず 河野外相は訪問先のサウジアラビアで同国のムハンマド皇太子と会談し、サウジの経済構造改革を支援する考えを改めて強調した。河野氏は約1時間の会談で、ムハンマド氏の関与が指摘されるサウジ人記者カシヨギ氏殺害事件について言及しなかった。殺害事件を巡って国際社会から批判を受け

『未和 N H K記者はなぜ過労死したのか』 著者・尾崎氏にインタビュー

N H Kはなぜこの「事件」を4年間も伏せていたのだろうか。5月8日に岩波書店から出版された『未和 N H K記者はなぜ過労死したのか』の著者・尾崎孝史さん(53)の取材動機だった。尾崎さんは、外部スタッフとしてN H Kで27年間、番組制作に携わっている。

亡くなった未和さんご両親と出会う「娘が31年間生きてきた証を残したい」という要望を受けた。彼女の死に至るまでの経過をまとめた尾崎さんに話を聞いた。



N H K記者、佐戸未和さん
—遺族提供

選挙報道で月209時間残業 公表めぐりくい違うNHKと両親

「助かっていた」可能性も

トに説得力を感じました。そこで、ご両親あてに「可能なら焼香させていたきたい」と書いた手紙を、代理人の事務所におかずにお持ちして渡していただくようお願いしました。焼香を機に本の出版の話が進みました。

109人取材

—どんな資料をもとに書いたのですか。
N H Kから遺品として届いた取材ファイルや放送を録画したDVD、未和さんがスケジュールを書き込んでいたN H K手帳、3冊の取材ノート、携帯電話・パソコンでやり取りされたメールなどです。また、遺族、友人、N H K関係者など109人にインタビューをしました。1年半に及ぶ取材で合計約300時間になりました。

—彼女が過労死した背景は？
N H Kでは災害と選挙が報道の二本柱とされています。特に国政選挙の報道は、与党・自民党議員に不利にならないようバランスをとることが不文律となっています。国会でN H K予算案をスムーズに承認してもらう必要があるからかもしれま



い、彼女のマンションを訪ねたら助かっていたかもしれない。ご両親も私も真相を知りたいと願っています。

—N H Kが事件を伏せていたのはなぜですか。
14年5月に未和さんが労災認定されました。N H Kの担当者から「記者会見をしますか」と尋ねられた担当弁護士は「予定はない」と答えました。すると担当者は「会見をしないですね」と深く確認するかのようだったと弁護士は言っています。この情報がN H K上層部に伝わり、ご両親は公表を望んでいないという空気が定着したのかも知れません。日放も何か事を起こすという姿勢は見られませんでした。N H Kは「代理人から公表を望んでいないと聞いていた」と言っています。が、弁護士は否定しています。ご両親は記者会見を開き、事実確認があるとしたうえで「両親が公表を望んでいない」という事実はありません」と抗議しています。

—未和さんは助かる可能性があったと示唆していますか。
彼女のN H K手帳の7月24日欄に「14:30~15:00 15:00~15:30 次長」と書き込まれていますが、異動の挨拶のため2人の都庁幹部との面談があったと推測できます。当日、佐戸記者が来ないので都庁職員がN H K都庁クラブに連絡を入れた可能性がります。それを受けた人が不審に思

真相知りたい

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

—彼女が過労死した背景は？
N H Kでは災害と選挙が報道の二本柱とされています。特に国政選挙の報道は、与党・自民党議員に不利にならないようバランスをとることが不文律となっています。国会でN H K予算案をスムーズに承認してもらう必要があるからかもしれま

て記者に携帯端末が配布され、上司に居場所が監視されるような不安もあるそうです。

付度のない自由な取材
聞き手 橋詰雅博

今年度本部役員等人事

3月30日に開かれたJ C J定時総会で承認された2019年度本部役員などの人事は次の通りです。

代表委員 清水正文 白垣昭男 隅井孝雄 中村悟郎 守屋龍一 吉原功

運営委員 河野慎二(放送、水上人江、橋詰雅博(出版)、三枝和仁(広告・事務局兼任、須貝道雄(日経)、矢野昌弘(赤旗)、鈴木賀津彦(東京新聞)、藤森研(代行・野呂法夫)(神奈川)、大野晃、鈴木耕

米韓軍事演習への反発か 「飛翔体」2回発射

「飛翔体」2回発射

2017年11月29日の大陸間弾道ミサイル「火星15」発射以来、ミサイル発射を控えてきた北朝鮮だが、5月に入り、立て続けに2回、金正恩朝鮮労働党委員長指導のもと、火力攻撃訓練を行った。

一つは4日に東海海上で前線および東部戦線防衛部隊が行ったもので、二つ目は9日に西部戦線防衛部隊が行ったものだ。北朝鮮は8日、北南将領級軍事会談代表団報道官が朝鮮中央通信社の記者に答える形で、4日の訓練は「正常な訓練計画の範囲内で行われた」と強調した。だから、米韓も日本も「約束違反ではない」との立場を表明

—「極めて深刻に見ている」(9日)と不快感を示している。
北朝鮮はなぜ、ここへ来て2回「飛翔体」を発射したのか。2月の米朝首脳会談が物別れに終わった後、米朝協議は進展していない。そうした中で動きだけに気になるところだ。

国営・朝鮮中央通信は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

3月に実施した「同盟19-1」訓練と8月に実施予定の「同盟19-2」訓練を、「歴史的な北南、朝米首脳会談で実現した合意に対する違反」「朝鮮半島の平和雰囲気をつぶす挑発」だと非難している。米韓の軍事訓練に対して、我々が通常の訓練をして何が悪いのか、ということなのだろう。

西部戦線で火力攻撃訓練が行われた9日、米司法省は石炭を輸送していた北朝鮮船籍の貨物船を差し押さえたことを発表した。北朝鮮外務省報道官は14日、談話を発表し、「差し押さえが」「新たな朝米関係樹立を公約した6・12朝米共同声明の基本精神を否定するものだ」と非難した。

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

編集長



日本弁護士連合会(日弁連)が主催した「日米地位協定を検証する」ドイツ・イタリヤと比較して」と題するシンポジウムが5月11日に弁護士会館2階講堂で開かれた。当日は定員280人の講堂に約400人が参加。日弁連は「こんなに大勢くるとは予想していなかった」とうれい悲鳴を上げていた。

パネリストとして琉球新報の島袋良太郎記者や日弁連基地問題担当の福田護弁護士、沖縄弁護士会の松崎暁史弁護士らと共に沖縄県の池田竹州知事公室長も出席した。沖縄県は駐留米軍の活動を対象としたドイツ、イタリア、ベルギー、イギリス4カ国の地位協定などを調査した報告書を4月に発表した。各国の取材をした池田さんは報告書作成の中心メンバーだ。

欧州各国への調査動機について池田さんはこう語った。

「2016年末に名護市でオスプレイが墜落し、翌年10月には東村高江でヘリ不時着炎

上事故が起きた。しかし、日米地位協定により米軍が現場を封鎖し、県の事故調査は阻まれた。当時の翁長雄志知事が『在日米軍専用施設は沖縄に70%集中しているが、残る30%は本土にある。米軍機事故は日本全体の問題。外国はどう対応しているか調査したい』と言ったのがきっかけだった。2年前から調査を開始した」

日本では米軍が航空管制業務を行う空域があり、とくに横田基地管制官が担当する横田空域は有名。新潟県から静岡県まで及ぶ広大なエリアだ。欧州の事情はどうなっているのか。

「航空関係機関のヒアリング調査では、横田空域のような外国軍が占有する空域の存在はなかった(池田さん)」

池田さんによると、横田空域や沖縄周辺の20カ所に広がる米軍訓練空域の話は航空関係者にしたら「日本は本常に主権を回復しているのか」と驚いていたという。

しかも4カ国とも、駐留米軍の活動に対して国内法を適用。国内法が適用な日本とは雲泥の差だ。橋詰雅博

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

—その後外部スタッフの部屋が倒壊した。ご両親は、4月の段階で興味深い議論を配信していた。27日発の論評で、米韓が基本精神を否定するものだ」と非難した。

リアル北朝鮮